

'13年「国際
2匹目のどじょう賞」
受賞
大学院1年
中山江利さん
36歳

「洋服が好きなので、ファッションに折り紙工学を取り入れてみようと思ったのが始まりです」。たまたまでポケットに入れられるカバンなども製作している

賞を受けた学識女子

「グローバル」の早稲田
「気品」を重んじる慶應
「自由」を標榜する明治



女

子の志願者数が
慶應を超えて早

稲田に迫り、就職率は
両校を上回る——いま
や早慶に劣らぬ人気大
学となった明治。3校
の中で逸早く女子に門
戸を開いた歴史(19
29年)。早慶は戦後)
や「自由」を標榜する
校風が女子力躍進の背
景にある。同大学院で
現象数学を学ぶ中山
江利さんは、折り紙工
学を生かした「折りた
ためる帽子」を考案。
自由で斬新な発想が評
価され、昨年「人々を
笑わせ、考えさせてく
れる研究」に授与され
る「国際2匹目のどじ
ょう賞」を受賞した。
福沢諭吉が建学精神
として「知徳の模範」
を掲げた慶應。前ペー